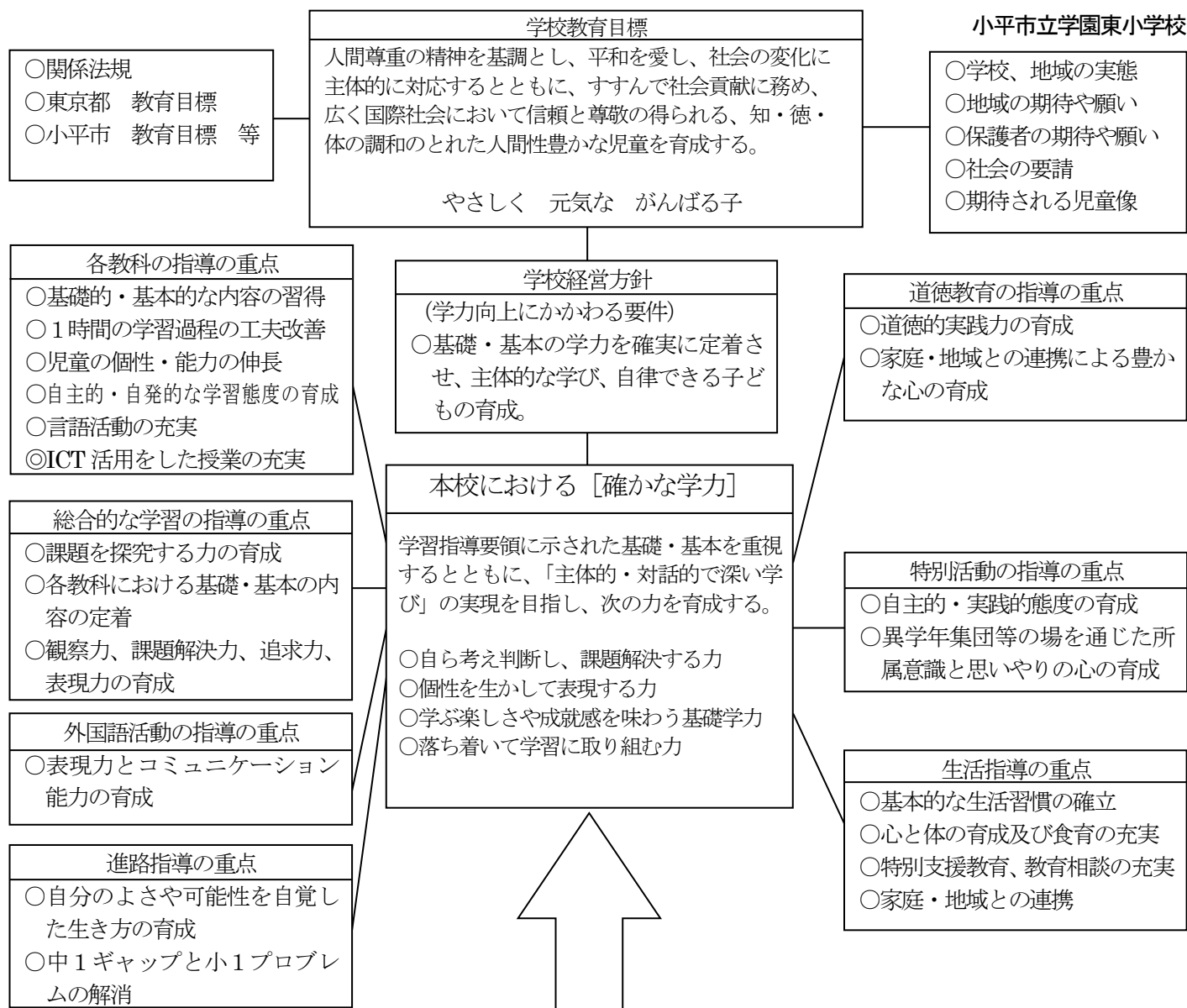


令和6年度 学力向上を図るための全体計画



本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
○習熟度や個人差に対応できる教材開発 ○「東京ベーシック・ドリル」の活用 ○目的に応じた調べ学習の実施 ○思考力、判断力、表現力を用いる学習活動の充実 ○「学園東これだけは」の全校実施 ○学習用端末での学習の充実	○定期的な東京ベーシックドリル診断テストの実施 ○時間割を工夫し、標準時数の確保に努める。(水曜日の6時間目にクラブ活動や委員会活動)	○教科を算数とした年3回の研究授業の実施 ○学年内及び校内での積極的な授業公開 ○研修会等の意欲的な企画・参加 ○他校の実践や各自の研修の成果の校内への還元	○以下の評価の積極的な実施 ・教師自身の授業評価 ・児童、保護者及び地域からの外部評価アンケート	○ボランティアやゲストティーチャーの積極的な活用 ○ホームページによる情報発信 ○学校経営方針に基づく、紙面での説明・報告の実施 ○家庭での読書や自主学習についての啓発